
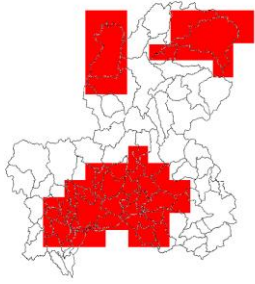


ツメレンゲ	<i>Orostachys japonica</i> (Maxim.) A.Berger	準絶滅危惧
(環境省:準絶滅危惧)		ベンケイソウ科
選定理由	花が美しく、園芸目的に特に珍重され採取されることがある。	写真(高橋弘)
形態の特徴	葉を密生し直径12cmにもなるロゼットをつくる。ロゼット葉は多肉で披針形、鋭頭で短針がある。花茎は高さ6-30cm。花弁は白色、裂開直前の葯は赤紫色。地上部は白緑色から緑色でしばしば紅色を帯びる。	
生態的特徴	ベンケイソウ科の多年草。岩上や屋根の上に生える。花期は10-11月。多年草だが開花した個体は枯死する一稔性植物。	
分布状況	関東地方から九州に分布し、朝鮮半島、中国大陸に分布する。岐阜県では、県南部と県北部の一部に見られる。	
減少要因	園芸植物として採取され減少している。宅地開発や高速道路建設などにより生育地全体が破壊される可能性がある。	
保全対策	詳細な分布情報を公表するには配慮が必要である。環境の維持などの保全。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982	

文責:福岡義洋